

令和6年度 第5回学校運営協議会議事録（発信者ごとの要点議事録）

日時：令和7年3月8日（土）
場所：田無第一中学校 校長室
出席者：瀬沼 洋子委員 紺野 愛子委員 鵜野 美代子委員 鈴木 隆文委員 小野 千代乃委員 辻 康一委員 歌田 多恵委員 欠席者1名 出席者が過半数を超えているため、本会議は成立
第5回学校運営協議会を始めます。 次第1 校長挨拶 副長先生から、今年度のアンケートの結果を報告しますが、この結果を受けて、来年度の教育活動について具体的な取り組みについてお伝えします。逆風の中でも進んでいくような力が大事だと思っています。困難なことでもくじけない気持ちとか、子供たち同士でコミュニケーションを取りながら進んでいける、すぐにこの心が折れない子供達を育てていきたいなというふうに思います。 次第2 学校評価アンケートのまとめ（副校長） 学校評価アンケートについての報告、意見については、ホームページ「令和6年度 学校評価アンケートのまとめ」を参照。 次第3 今年度の振り返り（濱田主幹教諭） 学校評価アンケートのまとめにあったボランティアについてですが、地域でやっていることや人手不足なんだなどの情報を、学校側が知らないこともあると思うので、今後情報をいただけると、それを地域の課題として考えていけるのではないかと思います。もっともっと地域に出て、地域でこんな課題があるということを生徒たちにも考えさせたいと思います。それが社会参画力にも繋がっていくと思っています。 ○不登校生徒について 不登校について、昨年度とても不登校率が高く、今年度その対策をいろいろ取り組んだことを振り返りました。昨年度7.8%だったのが今年度は5.9%でした。不登校が生まれないような学級づくりを行ったり、教育相談の実施時期を検討したりしてきました。中間考査もなく予定です。テストは教科ごとに時期をずらして行うなど対策していきます。4月の始まり、1学期の前半部分は少し緩やかになんとかできないかと考えています。 SWOT分析で学校の強み。弱みを分析しています。 教員のチームワークがよい、生徒たちは委員会や部活に一生懸命取り組んでいます。保護者の方も授業参観など多くの方が参加されています。学校の場所も市役所が近かったりいいことはたくさんあります。 弱みとしては教員の方は規模が市内では大きい方なので、学年セクトになりやすい、女性教員が少ない、規模が大きいので生活指導も人によって差が出てきてしまうこともあるなどがありました。

これらをどう解決していくか考えた上で、来年度の計画を立てているところです。放課後カフェも委員会とコラボして行い、人を呼び込めるような工夫も考えています。

○生徒の様子について

地域からの苦情がとても多かったです。一方的な教員からの指導で終わってしまっているため、生徒に考えさせる機会を持たせたいと思っています。一中として、粘り強く、自分自身と向き合い、目の前の課題に向き合っていく力を生徒に身につけさせたいと考えています。困難に負けず、立ち向かっていく力を育成しておきたいと思っています。そのためにライオンズクエストのライフスキルプログラムを取り入れ、学級づくりに役立て、感情のコントロールのしかたを身に付けさせたいと考えています。

保護者の方も思春期の子供に対して困っていることがあると思います。その困り間をうまく共有できる場が必要だと考えています。保護者会の持ち方も検討したり、講演会をやったりということも考えています。

次第4 情報提供

委員 学校運営協議会に参加させていただいて、視野が広がったと思います。

デジタル化については、コンピュータの使い方が教育ではないと思います。社会の中でも仕事をデジタル化することで仕事を区分していく、その整理がデジタル化だと思います。道具としてのコンピュータでなければ逆に仕事を増やしてしまうことになります。

委員 子供たちの発表を見に行ったのですが、声が小さい子供がいます。発表なのだから大きい声で堂々と発表できるといいです。自分が体験したことを発表する場が子供たちに必要だと思います。

委員 勉強ができることがすべてではないと思います。ほかのこともいろいろと経験させていくことが大事だと思います。ボランティア活動も、人に褒められる、それがとてもうれしいことだと思います。

委員 外で活動している子供たちの顔は違っていて、生き生きしている姿がたくさん見られました。中学生もどんどん出て行ってほしいなと思います。それが成功体験につながると思います。

委員 一年間、ありがとうございました。来年度もよろしくお願いいたします。